

平成25年7月2日～7月8日までの全国の暑さ指数（WBGT）の  
観測状況及び熱中症による救急搬送者数と暑さ指数との関係について  
（お知らせ）（平成25年度第3報）

1. 目的

環境省では、暑さ指数(WBGT：湿球黒球温度)の予測値・実況値について、今年度は、5月13日(月)から情報提供を開始したところです。今般、全国の熱中症患者数が急増していることから、暑さ指数の情報提供に加え、暑さ指数の推定精度の高い約150地点について、過去1週間程度の暑さ指数の観測状況、暑さ指数と熱中症患者搬送数との関係について、定期的に情報提供を行うことといたしました。本情報等を活用し、広く熱中症の予防にご協力いただきますようお願いいたします。

2. 先週（7月2日～7月8日）の全国の暑さ指数の観測状況について

暑さ指数31℃以上（危険）の時間数（168時間中）

1. 久米島（沖縄県）	58時間
2. 石垣島（沖縄県）	49時間
3. 与那国島（沖縄県）	23時間
4. 名護（沖縄県）	17時間
5. 四日市（三重県）、名瀬（鹿児島県）	10時間
6. 南大東島（沖縄県）	9時間
7. 宮古島（沖縄県）	8時間
8. 熊谷市（埼玉県）、西表島（沖縄県）	7時間

<参考>全国6都市の観測地点

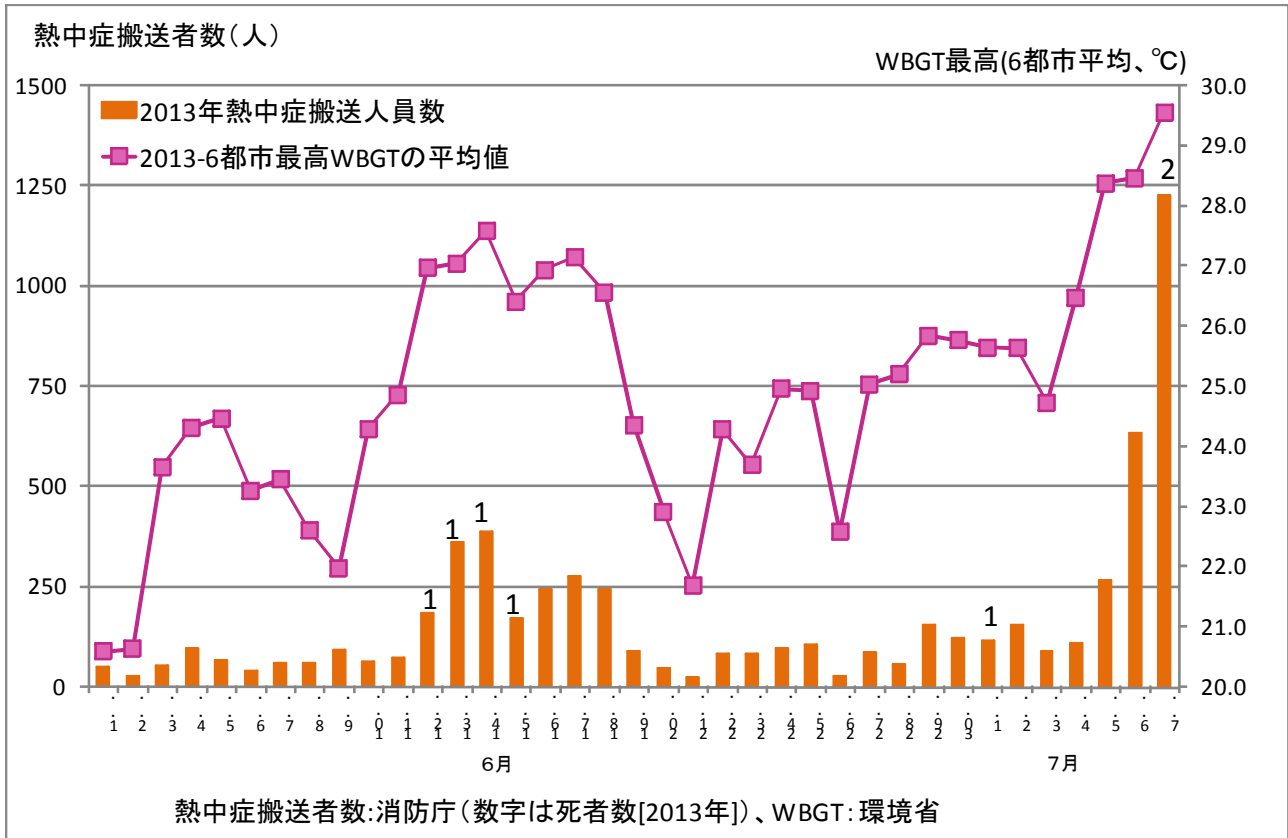
新潟（新潟県）	0時間
東京（東京都）	2時間
名古屋（愛知県）	6時間
大阪（大阪府）	0時間
広島（広島県）	0時間
福岡（福岡県）	0時間

(注1) 暑さ指数は、これまでの調査結果による推定手法を用いて、気象庁の観測資料から推定した値です。

(注2) 暑さ指数31℃以上の時間数は、今回の調査では、久米島の58時間が最多で、153地点のうち46地点で暑さ指数31℃以上の時間がありました。なお、暑さ指数31℃以上とは、(公財)日本体育協会の指針において、運動は原則中止レベルです。

### 3. 6都市の暑さ指数と熱中症による救急搬送者数（全国）との関係

6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市



- 6都市平均の最高 WBGT は、7/5 から 7/8 までの期間、熱中症危険度の「**嚴重注意**」を示す WBGT28°Cを上回っています。熱中症による救急搬送者数は消防庁発表の速報によると、7/6 は 635 名、7/7 は 1,225 名で、週末からの高温により、ほぼ全国的に熱中症による救急搬送者数が急増しています。
  - 7/2 から 7/8 までの期間、日中の WBGT 最高値は、南西諸島では期間を通して 31°C前後、東日本から西日本でも先週末から熱中症危険度の「**嚴重注意**」を示す WBGT28°Cを上回っています。また、WBGT31°Cを超えた地点は 8~24 地点 (全 153 地点) に達しており、熱中症に十分な注意が必要な状態になっています。
  - 気象庁発表 (7/9 11 時時点) の週間天気予報では、平年並か平年より高く、期間の中頃にかけてかなり高くなる所がある見込みです。
  - 関東甲信地方から南西諸島では、梅雨明けとなっており、急な暑さによる熱中症に対して特に注意が必要な時期です。高温が継続する期間は、屋内での熱中症にも十分な注意が必要です。こまめな水分補給で、体調管理に注意してください。
- (注) 6都市における暑さ指数は、環境省の観測と気象庁の観測資料から求めた観測値です。  
6都市：東京、新潟、名古屋、大阪、広島、福岡